

〔民事訴訟法認定試験 2017 年 3 月 3 日〕

つぎの設問にすべて答えること。

1 X は、Y 所有の店舗付住宅を 5,000 万円で購入する売買契約を締結した。しかし、当該店舗付住宅はその引き渡しを終える前に、火災により焼失してしまった。X は、この火災による当該住宅の消失は Y の過失に基づくものであるとして、損害額 3,000 万円のうち 2,000 万円の賠償請求であることを明示して訴えを提起した（前訴）。裁判所は、Y の過失は認められないとして請求を棄却したところ、X は、残額 1,000 万円の支払いを求める訴訟を提起した（後訴）。この訴えは適法か。

2 設問 1 の事案において、前訴で X が 2,000 万円を請求した理由が、Y が賠償額 1,000 万円を自認したことによるものであった。前訴で請求棄却判決が下された後に、X が Y に 1,000 万円の支払いを求めたところ、Y がこれを争ったため、X は残額 1,000 万円の支払を求める訴訟を提起した（後訴）。この訴えは適法か。

3 事実自白・権利自白・請求の認諾の相違について説明せよ。